別紙１

研究報告書表紙

厚生労働科学研究費補助金

地域医療基盤開発推進研究事業

パーソナルヘルスコードを活用した診療（オンライン診療を中心とした）における行動変容に関する研究

令和6年度　総括研究報告書

研究代表者　米田　隆

令和7（2025）年　5月

別紙２

研究報告書目次

目　　次

Ⅰ．総括研究報告
パーソナルヘルスコードを活用した診療（オンライン診療を中心とした）における行動変容に関する研究
---------- 1
米田　隆
（資料）① PHRに関わる国内外のエビデンスの収集・レビューと論文投稿（図１）
---------- 2
遠隔医療学会の協力のもと様々なスタークフォルダーによる研究会の開催（図-2）
---------- 3
②PHR を用いたオンライン診療による生活習慣病患者への有用性の検討
---------- 4
③PHR の利活用に関する新たな実証研究 ---------- 5
2 か月コースによる臨床研究---------- 6

別紙３

厚生労働科学研究費補助金（地域医療基盤開発推進研究事業）
総括研究報告書

パーソナルヘルスコードを活用した診療（オンライン診療を中心とした）における行動変容に関する研究

研究代表者　米田　隆　融合研究域融合科学系・教授

研究要旨　本研究は、健康・医療政策をデジタルトランスフォーメーション推進という観点から、パーソナルヘルスレコードを活用した診療（オンライン診療中心とした）における行動変容に関する研究を行い、デジタルヘルス改革を推進する。

研究分担者氏名・所属研究機関名及び所属研究機関における職名
稲津　明広・国立大学法人金沢大学・医薬保健研究域保健学系・教授
野村　章洋・国立大学法人金沢大学・融合学域融合科学系・准教授
古川　健治・北陸先端科学技術大学院大学・保健管理センター・教授
米田　貢・国立大学法人金沢大学・医薬保健研究域保健学系・准教授
高村　禅・北陸先端科学技術大学院大学・先端科学技術研究科・教授
出村　昌史・国立大学法人金沢大学・医薬保健研究域医学系・准教授
唐島　成宙・国立大学法人金沢大学・国際基幹教育院・准教授
米谷　充弘・国立大学法人金沢大学・附属病院・准教授
南保　英孝・国立大学法人金沢大学・融合学域融合科学系・准教授
原　章規・国立大学法人金沢大学・医薬保健研究域保健学系・准教授
青野　大輔・国立大学法人金沢大学・医薬保健研究域保健学系・助教
野田　侑子・国立大学法人金沢大学・融合学域融合科学系・研究員

A．研究目的：パーソナルヘルスレコード（PHR）等で患者本人が医療情報の閲覧による行動変容変化に関し、国内外のエビデンスを、論文データベース、研究事業報告書、ガイドラインから収集・レビューをする。
また既にPHR活用している医療機関・企業、厚生労働省の関係者による討論の場を設け、内容を論文化しエビデンス構築をする。
さらにオンライン診療および健診・人間ドックでのフィールドで医療情報の閲覧やPHRから得られる情報での利活用することでの行動変容への影響に関して、より高いエビデンスを構築する

B．研究方法：①PHRに関わる国内外のエビデンスの収集・レビュー、研究会の開催②PHR を用いたオンライン診療による生活習慣病患者への有用性の検討③PHR の利活用に関する実証研究。
（倫理面への配慮）個人情報の取り扱いに十分注意し、当該の倫理審査委員会の審査・承認を受け実施する。

C．研究結果：上記①②③の研究を行った。
①PHR に関する研究報告数は年々増加も、**行動変容への影響を評価した論文は少ない**。遠隔診療学会の協力のもと様々なステークフォルダー意見を集約論文投稿した。（図 1, 2）②オンライン診療での PHR 利用は従来診療より行動変容効果を認めた。（図２）
新たな研究（**厚労省健康づくりのため身体活動・運動ガイド 2023** を反映＋血糖リアルタイムモニタリングを応用）した PHR 実証研究実施中。中間解析で平均 1.4kg の減量や血糖値変動の改善も見られている（図 4）
また、2か月プログラムの研究も開始、2か月で行動変容がおこる可能性を認めた（図-5）

D．考察：
PHRと行動変容の研究数は少ないが、新規PHR論文＋厚労省ガイドラインをベースにした新規研究の中間解析から本研究の社会実装も可能と思われる。

E．結論：さらに臨床研究を推進し本邦の政策に寄与するよう、より強力なエビデンスの構築に努める。

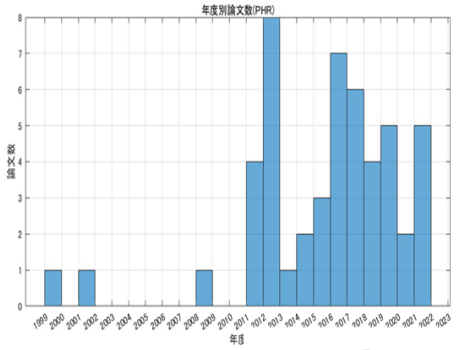
F．健康危険情報：　該当なし

G．研究発表：
1.　論文発表　該当なし（投稿中）
2.　学会発表　2件

H．知的財産権の出願・登録状況
（予定を含む。）：
1. 特許取得　該当なし
2. 実用新案登録　該当なし
3. その他　該当なし

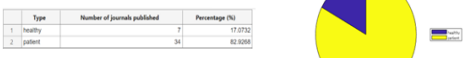
図-1

① PHRに関わる国内外のエビデンスの収集・レビューと論文投稿

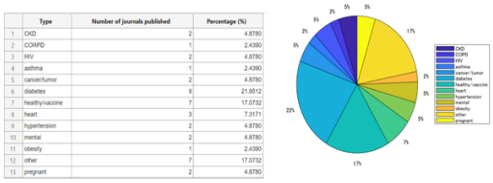


PHR論文の中で**行動変容**に効果があった項目・論文数

項目	証拠なし	有意な証拠あり	項目	糖尿病	精神疾患	心血管疾患	喘息	HIV	高齢者	その他	健常者
自己効力感	1		自己効力感					1			
コミュニケーション		3	コミュニケーション	1		1				1	
喫煙	1		喫煙		1						
自己管理行動	1	1	自己管理行動	1							
薬の服用	1	1	薬の服用						1	1	
受診数	2		受診数				1			1	
再入院率		1	再入院率							1	
予防サービスの利用	1	3	予防サービスの利用		1	1		1			1
予防接種		4	予防接種						1		3



PHR論文の疾患別割合



PHRに関しては**医療従事者が対象**となっている論文はいまのところなし

結論と課題

- 現在、PHRの利活用による行動変容を評価した研究はまだ多くない。
- 課題として「行動変容の定義」「自己効力感などの評価の難しさ」がある。
- 患者の参加度レベルを評価するための指標「Patient Activation Measure（PAM）」を使った研究が進行中。
- 今後の課題は、PHRの有用性を明確にすることや、より効果的なシステムツールの研究。

行動変容への影響をまとめ、英文誌投稿中

「Impact of personal health record use on behavior change/modification for lifestyle-related diseases」

図―２

① 遠隔医療学会の協力のもと様々なスタークフォルダーによる研究会の開催

中国の状況：ヘルスケアプラットフォームには「インターネット病院」　「アリヘルス」、「WeChat」、「平安グッドドクター」

IoT デバイスを用いたアプリの導入は、一部の指標改善に効果があり、保健指導や医療に有用、効果は継続率に依存する➡効率的な介入方法の研究の必要性

アプリ導入における医療者の負担の問題

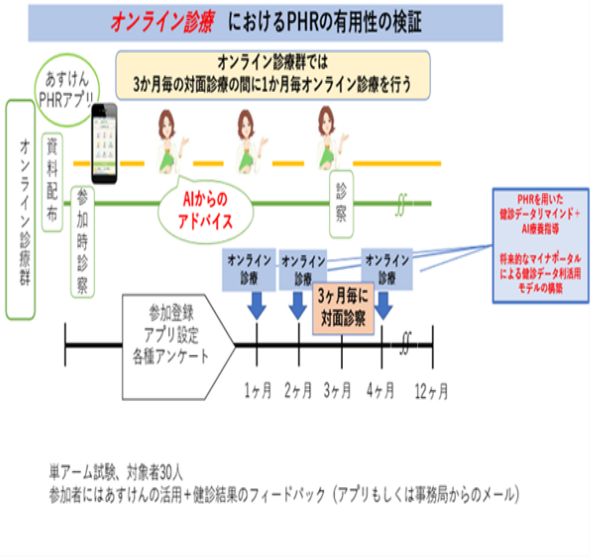
PHR 活用の障壁：PHR を見るだけでは効果がない一群の存在

R6 能登地震における応用：石川県医師会、石川県、厚労省、金沢大学、企業の産官学の連携連携活動：DC-CAT、 NTT ドコモ震災支援

図―１と図―2の論文を一つにまとめReviewとして英語論文に投稿中
「Impact of Personal Health Record Use on Behavioral Change: A Literature Review」

図－3

②PHRを用いたオンライン診療による生活習慣病患者への有用性の検討



最終登録症例:75例(女性39名、平均59.6歳)の登録、研究開始済み

いき内科クリニック:37名

芳珠記念病院:15名

KKR北陸病院:23名

6か月後評価(病院でもらうデータを次回診察までの再度閲覧するかの頻度)

アプリ+オンライン診療介入群	70/75	93%	P<0.05
歴史的コントロール群	36/88	41%	

(従来診療で診察時患者さんに渡す紙の臨床データの閲覧を促す)

マイナポータルの医療情報を閲覧する頻度

アプリ+オンライン診療介入群	5/75	7%
歴史的コントロール群	5/60	8%

マイナポータル:アクセスが手間、患者の求める医療情報が少ない

図-4

③PHRの利活用に関する新たな実証研究

予定症例数：50例

PHRアプリ（YaDOC）使用

毎日の食事の写真＋リブレ（血糖リアルタイムモニタリング）情報をもとに医療従事者が生活指導

（タンパク摂取量指導をあり：厚労省健康づくりのため身体活動・運動ガイド2023と下記参考文献を応用した実証研究）

50例登録済み

解析例：47例

（女性12名、平均年齢54歳、糖尿病15/高脂血症24/高血圧8/心血管疾患7名）

研究修了時（6か月）結果

①写真や血糖値（リブレ）：96%（45/47例）が食事内容の改善

栄養士（コンシェルジェ）からのremindない場合は60%（28/47）

③対象者47名,BMI≥25kg/m2 の肥満27例で腹囲低下（92.7±8.0→85.1±2.9cm, P＜0.04)、

血糖値改善（116±3→114±4mg/dl）。

糖尿病15症例でHbA1cが低下（7.1±0.7→6.6±0.6%;p＜0.04）

Yadocアプリでの食事写真によるオンライン生活指導例

目標血糖値：160mg/dL以下	目標タンパク：85g/日	Good Point	Brush Up Point
血糖が上がりやすいパスタ＆ドルチェも、タンパク質が多い＆会食のため、血糖上昇抑えられています。	約96g (85g/日の113%) ・朝食；約24g(1日分の28%) ・昼食；約31g(1日分の36%) ・夕食；約41g(1日分の48%)	卵、乳製品、大豆製品など、1食でも数種類のタンパク質をとれており、とてもすばらしいです。 昼食も、タンパク質＆会食でゆっくり食事でしょうか、血糖上昇おさえられており、とてもよいです。	トレーニングに支障がないようでしたら、朝は、血糖値が上がりやすい時間帯のため、飲えて糖質を抑える(ご飯をご少量)という方法もあります。 また、血糖や体重(脂肪)が気になるようでしたら、おかずを追加＋ご飯を少し減らしてみて「血糖160以下」のご飯の量を探すのもおススメです。 ランニングなどもされているので、筋力維持＆関節の保護のためにも、タンパク質の目標は、この日位(100%超)の量でもよいかもしれません。タンパク質は、筋肉量や握力での確認がおススメです。

体重減少例

震災での有用例

	1カ月目	2カ月目	3カ月目	4カ月目	5カ月目	6カ月目
	7/9～	8/6～	9/3～	10/1～	10/29～	11/26～
リブレ	7/9 ～ 8/20		9/4 ～ 9/18	10/1 ～ 10/15	10/29 ～ 11/11	11/26 ～ 12/10
タンパク	60～80%	80%前後～	80%前後～	確認できず	確認できず	確認できず
握力		右)40.3	右) 42.0			左) 41.0 右) 44.0

新たな追加研究：2025年1月より 100例の2か月コースによる臨床研究開始予定（すでに100例症例登録済み）

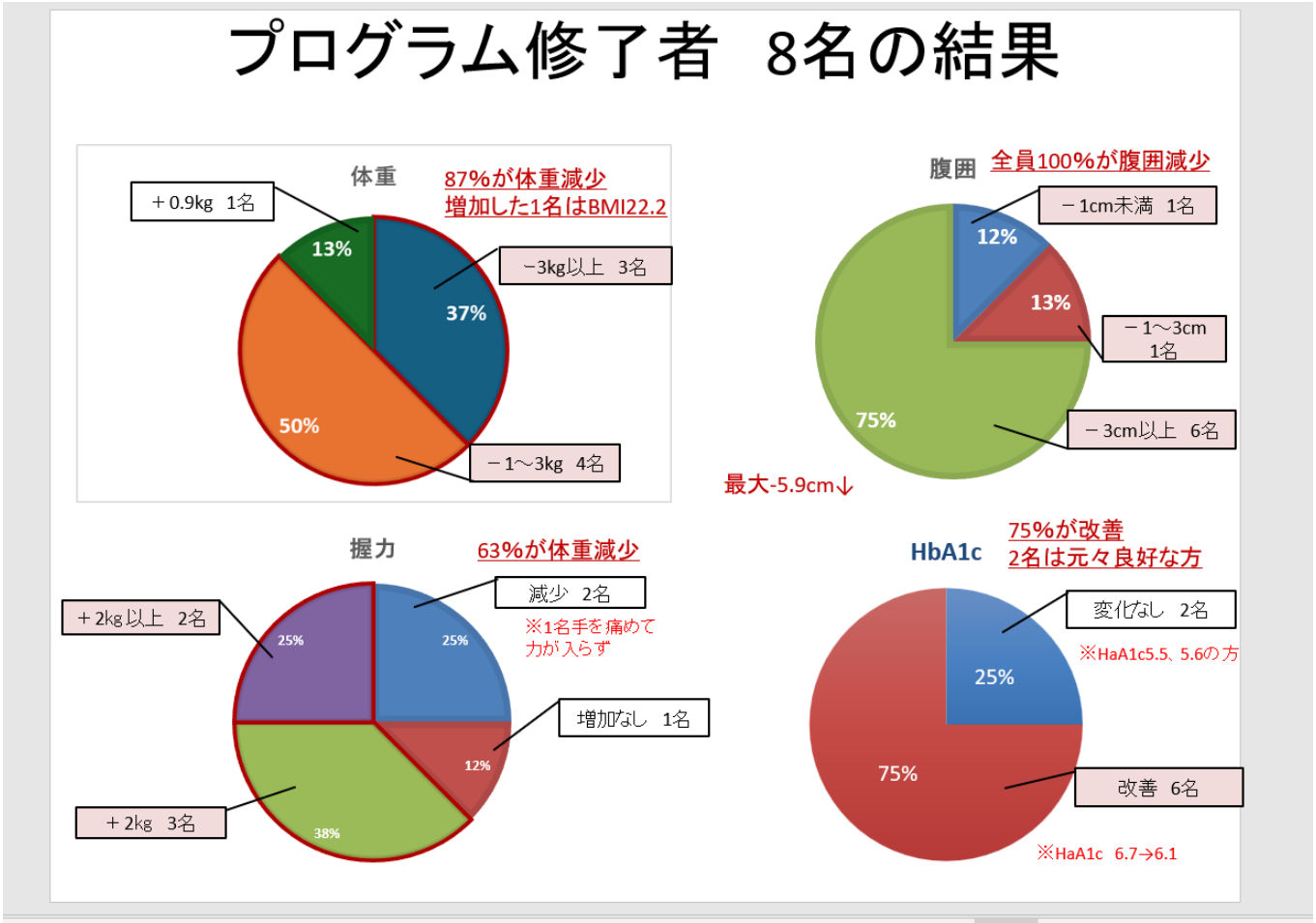
上記研究結果より 2か月で行動変容が完成している症例 85％（40/47）認められた。

デジタル医療で行動変容が従来の6か月から2か月に短縮できる可能性を証明する➡医療政策の効率化

図－5

新たな追加研究：2025 年 1 月より　100 例の 2 か月コースによる臨床研究開始
（すでに 100 例症例登録済み）
上記研究結果より　2 か月で行動変容が完成している症例　85%（40/47）認められた。
デジタル医療で行動変容が従来の 6 か月から 2 か月に短縮できる可能性を証明する
➡医療政策の効率化

2か月コースの結果（中間解析）



別紙４

研究成果の刊行に関する一覧表

書籍

著者氏名	論文タイトル名	書籍全体の編集者名	書　籍　名	出版社名	出版地	出版年	ページ
該当なし							

雑誌

発表者氏名	論文タイトル名	発表誌名	巻号	ページ	出版年
該当なし					

令和 7 年 4 月 1日

厚生労働大臣　殿

機関名　国立大学法人金沢大学

所属研究機関長　職　名　学長

氏　名　和田　隆志

次の職員の令和 6 年度厚生労働科学研究費の調査研究における、倫理審査状況及び利益相反等の管理については以下のとおりです。

１．研究事業名　地域医療基盤開発推進研究事業

２．研究課題名　パーソナルヘルスコードを活用した診療（オンライン診療中心とした）における行動変容に関する研究

３．研究者名　（所属部署・職名）融合研究域融合科学系 ・ 教授

（氏名・フリガナ）　米田　隆 ・ ヨネダ　タカシ

４．倫理審査の状況

	該当性の有無 有　無	左記で該当がある場合のみ記入（※1）		
		審査済み	審査した機関	未審査（※2）
人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針（※3）	■　□	■	金沢大学	□
遺伝子治療等臨床研究に関する指針	□　■	□		□
厚生労働省の所管する実施機関における動物実験等の実施に関する基本指針	□　■	□		□
その他、該当する倫理指針があれば記入すること（指針の名称：　　）	□　■	□		□

（※1）当該研究者が当該研究を実施するに当たり遵守すべき倫理指針に関する倫理委員会の審査が済んでいる場合は、「審査済み」にチェックし一部若しくは全部の審査が完了していない場合は、「未審査」にチェックすること。

その他（特記事項）

（※2）未審査の場合は、その理由を記載すること。

（※3）廃止前の「疫学研究に関する倫理指針」、「臨床研究に関する倫理指針」、「ヒトゲノム・遺伝子解析研究に関する倫理指針」、「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」に準拠する場合は、当該項目に記入すること。

５．厚生労働分野の研究活動における不正行為への対応について

研究倫理教育の受講状況	受講 ■　未受講 □

６．利益相反の管理

当研究機関におけるＣＯＩの管理に関する規定の策定	有 ■　無 □（無の場合はその理由：　　）
当研究機関におけるＣＯＩ委員会設置の有無	有 ■　無 □（無の場合は委託先機関：　　）
当研究に係るＣＯＩについての報告・審査の有無	有 ■　無 □（無の場合はその理由：　　）
当研究に係るＣＯＩについての指導・管理の有無	有 □　無 ■（有の場合はその内容：　　）

（留意事項）　・該当する□にチェックを入れること。

・分担研究者の所属する機関の長も作成すること。

令和 7 年 4 月 1日

厚生労働大臣　殿

機関名　国立大学法人金沢大学

所属研究機関長　職　名　学長

氏　名　和田　隆志

次の職員の令和 6 年度厚生労働科学研究費の調査研究における、倫理審査状況及び利益相反等の管理については以下のとおりです。

１．研究事業名　地域医療基盤開発推進研究事業

２．研究課題名　パーソナルヘルスコードを活用した診療（オンライン診療中心とした）における行動変容に関する研究

３．研究者名　（所属部署・職名）医薬保健研究域保健学系 ・ 教授

（氏名・フリガナ）　稲津　明広 ・ イナヅ　アキヒロ

４．倫理審査の状況

	該当性の有無 有　無	左記で該当がある場合のみ記入（※1）		
		審査済み	審査した機関	未審査（※2）
人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針（※3）	■　□	■	金沢大学	□
遺伝子治療等臨床研究に関する指針	□　■	□		□
厚生労働省の所管する実施機関における動物実験等の実施に関する基本指針	□　■	□		□
その他、該当する倫理指針があれば記入すること（指針の名称：　　）	□　■	□		□

（※1）当該研究者が当該研究を実施するに当たり遵守すべき倫理指針に関する倫理委員会の審査が済んでいる場合は、「審査済み」にチェックし一部若しくは全部の審査が完了していない場合は、「未審査」にチェックすること。

その他（特記事項）

（※2）未審査の場合は、その理由を記載すること。

（※3）廃止前の「疫学研究に関する倫理指針」、「臨床研究に関する倫理指針」、「ヒトゲノム・遺伝子解析研究に関する倫理指針」、「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」に準拠する場合は、当該項目に記入すること。

５．厚生労働分野の研究活動における不正行為への対応について

研究倫理教育の受講状況	受講 ■　未受講 □

６．利益相反の管理

当研究機関におけるＣＯＩの管理に関する規定の策定	有 ■　無 □（無の場合はその理由：　　）
当研究機関におけるＣＯＩ委員会設置の有無	有 ■　無 □（無の場合は委託先機関：　　）
当研究に係るＣＯＩについての報告・審査の有無	有 ■　無 □（無の場合はその理由：　　）
当研究に係るＣＯＩについての指導・管理の有無	有 □　無 ■（有の場合はその内容：　　）

（留意事項）　・該当する□にチェックを入れること。

・分担研究者の所属する機関の長も作成すること。

令和 7 年 4 月 1日

厚生労働大臣　殿

機関名　国立大学法人金沢大学

所属研究機関長　職　名　学長

氏　名　和田　隆志

次の職員の令和 6 年度厚生労働科学研究費の調査研究における、倫理審査状況及び利益相反等の管理については以下のとおりです。

１．研究事業名　地域医療基盤開発推進研究事業

２．研究課題名　パーソナルヘルスコードを活用した診療（オンライン診療中心とした）における行動変容に関する研究

３．研究者名　（所属部署・職名）融合研究域融合科学系 ・ 准教授

（氏名・フリガナ）　野村 章洋 ・ ノムラ　アキヒロ

４．倫理審査の状況

	該当性の有無 有　無	左記で該当がある場合のみ記入（※1）		
		審査済み	審査した機関	未審査（※2）
人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針（※3）	■　□	■	金沢大学	□
遺伝子治療等臨床研究に関する指針	□　■	□		□
厚生労働省の所管する実施機関における動物実験等の実施に関する基本指針	□　■	□		□
その他、該当する倫理指針があれば記入すること（指針の名称：　　）	□　■	□		□

（※1）当該研究者が当該研究を実施するに当たり遵守すべき倫理指針に関する倫理委員会の審査が済んでいる場合は、「審査済み」にチェックし一部若しくは全部の審査が完了していない場合は、「未審査」にチェックすること。

その他（特記事項）

（※2）未審査の場合は、その理由を記載すること。

（※3）廃止前の「疫学研究に関する倫理指針」、「臨床研究に関する倫理指針」、「ヒトゲノム・遺伝子解析研究に関する倫理指針」、「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」に準拠する場合は、当該項目に記入すること。

５．厚生労働分野の研究活動における不正行為への対応について

研究倫理教育の受講状況	受講 ■　未受講 □

６．利益相反の管理

当研究機関におけるＣＯＩの管理に関する規定の策定	有 ■　無 □（無の場合はその理由：　　）
当研究機関におけるＣＯＩ委員会設置の有無	有 ■　無 □（無の場合は委託先機関：　　）
当研究に係るＣＯＩについての報告・審査の有無	有 ■　無 □（無の場合はその理由：　　）
当研究に係るＣＯＩについての指導・管理の有無	有 □　無 ■（有の場合はその内容：　　）

（留意事項）　・該当する□にチェックを入れること。

・分担研究者の所属する機関の長も作成すること。

令和　7年　5月　9日

厚生労働大臣
~~（国立医薬品食品衛生研究所長）~~　殿
~~（国立保健医療科学院長）~~

機関名　北陸先端科学技術大学院大学

所属研究機関長　職　名　学長

氏　名　寺野　稔

次の職員の令和６年度厚生労働科学研究費の調査研究における、倫理審査状況及び利益相反等の管理については以下のとおりです。

１．研究事業名　地域医療基盤開発推進研究事業

２．研究課題名　パーソナルヘルスレコードを活用した診療（オンライン診療中心とした）における行動変容に関する研究

３．研究者名　（所属部署・職名）保健管理センター・教授

（氏名・フリガナ）古川　健治・フルカワ　ケンジ

４．倫理審査の状況

	該当性の有無 有　無	左記で該当がある場合のみ記入（※1）		
		審査済み	審査した機関	未審査（※2）
人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針（※3）	□　☑	□		□
遺伝子治療等臨床研究に関する指針	□　☑	□		□
厚生労働省の所管する実施機関における動物実験等の実施に関する基本指針	□　☑	□		□
その他、該当する倫理指針があれば記入すること （指針の名称：　　）	□　☑	□		□

（※1）当該研究者が当該研究を実施するに当たり遵守すべき倫理指針に関する倫理委員会の審査が済んでいる場合は、「審査済み」にチェックし一部若しくは全部の審査が完了していない場合は、「未審査」にチェックすること。

その他（特記事項）

（※2）未審査の場合は、その理由を記載すること。
（※3）廃止前の「疫学研究に関する倫理指針」、「臨床研究に関する倫理指針」、「ヒトゲノム・遺伝子解析研究に関する倫理指針」、「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」に準拠する場合は、当該項目に記入すること。

５．厚生労働分野の研究活動における不正行為への対応について

研究倫理教育の受講状況	受講 ☑　未受講 □

６．利益相反の管理

当研究機関におけるＣＯＩの管理に関する規定の策定	有 ☑　無 □（無の場合はその理由：　　）
当研究機関におけるＣＯＩ委員会設置の有無	有 ☑　無 □（無の場合は委託先機関：　　）
当研究に係るＣＯＩについての報告・審査の有無	有 ☑　無 □（無の場合はその理由：　　）
当研究に係るＣＯＩについての指導・管理の有無	有 □　無 ☑（有の場合はその内容：　　）

（留意事項）　・該当する□にチェックを入れること。
・分担研究者の所属する機関の長も作成すること。

令和 7 年 4 月 1日

厚生労働大臣　殿

機関名　国立大学法人金沢大学

所属研究機関長　職　名　学長

氏　名　和田　隆志

次の職員の令和 6 年度厚生労働科学研究費の調査研究における、倫理審査状況及び利益相反等の管理については以下のとおりです。

１．研究事業名　地域医療基盤開発推進研究事業

２．研究課題名　パーソナルヘルスコードを活用した診療（オンライン診療中心とした）における行動変容に関する研究

３．研究者名　（所属部署・職名）医薬保健研究域保健学系 ・ 准教授

（氏名・フリガナ）　米田　貢 ・ ヨネダ　ミツグ

４．倫理審査の状況

	該当性の有無 有　無	左記で該当がある場合のみ記入（※1）		
		審査済み	審査した機関	未審査（※2）
人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針（※3）	■　□	■	金沢大学	□
遺伝子治療等臨床研究に関する指針	□　■	□		□
厚生労働省の所管する実施機関における動物実験等の実施に関する基本指針	□　■	□		□
その他、該当する倫理指針があれば記入すること （指針の名称：　　）	□　■	□		□

（※1）当該研究者が当該研究を実施するに当たり遵守すべき倫理指針に関する倫理委員会の審査が済んでいる場合は、「審査済み」にチェックし一部若しくは全部の審査が完了していない場合は、「未審査」にチェックすること。

その他（特記事項）

（※2）未審査の場合は、その理由を記載すること。

（※3）廃止前の「疫学研究に関する倫理指針」、「臨床研究に関する倫理指針」、「ヒトゲノム・遺伝子解析研究に関する倫理指針」、「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」に準拠する場合は、当該項目に記入すること。

５．厚生労働分野の研究活動における不正行為への対応について

研究倫理教育の受講状況	受講 ■　未受講 □

６．利益相反の管理

当研究機関におけるＣＯＩの管理に関する規定の策定	有 ■　無 □（無の場合はその理由：　　）
当研究機関におけるＣＯＩ委員会設置の有無	有 ■　無 □（無の場合は委託先機関：　　）
当研究に係るＣＯＩについての報告・審査の有無	有 ■　無 □（無の場合はその理由：　　）
当研究に係るＣＯＩについての指導・管理の有無	有 □　無 ■（有の場合はその内容：　　）

（留意事項）　・該当する□にチェックを入れること。

・分担研究者の所属する機関の長も作成すること。

令和　7年　5月　9日

厚生労働大臣
~~（国立医薬品食品衛生研究所長）~~　殿
~~（国立保健医療科学院長）~~

機関名　北陸先端科学技術大学院大学

所属研究機関長　職　名　学長

氏　名　寺野　稔

次の職員の令和６年度厚生労働科学研究費の調査研究における、倫理審査状況及び利益相反等の管理については以下のとおりです。

１．研究事業名　地域医療基盤開発推進研究事業

２．研究課題名　パーソナルヘルスレコードを活用した診療（オンライン診療中心とした）における行動変容に関する研究

３．研究者名　（所属部署・職名）先端科学技術研究科・教授

（氏名・フリガナ）高村　禅・タカムラ　ユズル

４．倫理審査の状況

	該当性の有無 有　無	左記で該当がある場合のみ記入（※1）		
		審査済み	審査した機関	未審査（※2）
人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針（※3）	□　☑	□		□
遺伝子治療等臨床研究に関する指針	□　☑	□		□
厚生労働省の所管する実施機関における動物実験等の実施に関する基本指針	□　☑	□		□
その他、該当する倫理指針があれば記入すること（指針の名称：　　）	□　☑	□		□

（※1）当該研究者が当該研究を実施するに当たり遵守すべき倫理指針に関する倫理委員会の審査が済んでいる場合は、「審査済み」にチェックし一部若しくは全部の審査が完了していない場合は、「未審査」にチェックすること。

その他（特記事項）

（※2）未審査の場合は、その理由を記載すること。
（※3）廃止前の「疫学研究に関する倫理指針」、「臨床研究に関する倫理指針」、「ヒトゲノム・遺伝子解析研究に関する倫理指針」、「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」に準拠する場合は、当該項目に記入すること。

５．厚生労働分野の研究活動における不正行為への対応について

研究倫理教育の受講状況	受講 ☑　未受講 □

６．利益相反の管理

当研究機関におけるＣＯＩの管理に関する規定の策定	有 ☑　無 □（無の場合はその理由：　　）
当研究機関におけるＣＯＩ委員会設置の有無	有 ☑　無 □（無の場合は委託先機関：　　）
当研究に係るＣＯＩについての報告・審査の有無	有 ☑　無 □（無の場合はその理由：　　）
当研究に係るＣＯＩについての指導・管理の有無	有 □　無 ☑（有の場合はその内容：　　）

（留意事項）　・該当する□にチェックを入れること。
・分担研究者の所属する機関の長も作成すること。

令和 7 年 4 月 1日

厚生労働大臣　殿

機関名　国立大学法人金沢大学

所属研究機関長　職　名　学長

氏　名　和田　隆志

次の職員の令和 6 年度厚生労働科学研究費の調査研究における、倫理審査状況及び利益相反等の管理については以下のとおりです。

１．研究事業名　地域医療基盤開発推進研究事業

２．研究課題名　パーソナルヘルスコードを活用した診療（オンライン診療中心とした）における行動変容に関する研究

３．研究者名　（所属部署・職名）医薬保健研究域医学系 ・ 准教授

（氏名・フリガナ）　出村　昌史 ・ デムラ　　マサシ

４．倫理審査の状況

	該当性の有無 有　無	左記で該当がある場合のみ記入（※1）		
		審査済み	審査した機関	未審査（※2）
人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針（※3）	■　□	■	金沢大学	□
遺伝子治療等臨床研究に関する指針	□　■	□		□
厚生労働省の所管する実施機関における動物実験等の実施に関する基本指針	□　■	□		□
その他、該当する倫理指針があれば記入すること （指針の名称：　　）	□　■	□		□

（※1）当該研究者が当該研究を実施するに当たり遵守すべき倫理指針に関する倫理委員会の審査が済んでいる場合は、「審査済み」にチェックし一部若しくは全部の審査が完了していない場合は、「未審査」にチェックすること。

その他（特記事項）

（※2）未審査の場合は、その理由を記載すること。

（※3）廃止前の「疫学研究に関する倫理指針」、「臨床研究に関する倫理指針」、「ヒトゲノム・遺伝子解析研究に関する倫理指針」、「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」に準拠する場合は、当該項目に記入すること。

５．厚生労働分野の研究活動における不正行為への対応について

研究倫理教育の受講状況	受講 ■　未受講 □

６．利益相反の管理

当研究機関におけるＣＯＩの管理に関する規定の策定	有 ■　無 □（無の場合はその理由：　　）
当研究機関におけるＣＯＩ委員会設置の有無	有 ■　無 □（無の場合は委託先機関：　　）
当研究に係るＣＯＩについての報告・審査の有無	有 ■　無 □（無の場合はその理由：　　）
当研究に係るＣＯＩについての指導・管理の有無	有 □　無 ■（有の場合はその内容：　　）

（留意事項）　・該当する□にチェックを入れること。

・分担研究者の所属する機関の長も作成すること。

令和 7 年 4 月 1日

厚生労働大臣　殿

機関名　国立大学法人金沢大学

所属研究機関長　職　名　学長

氏　名　和田　隆志

次の職員の令和 6 年度厚生労働科学研究費の調査研究における、倫理審査状況及び利益相反等の管理については以下のとおりです。

１．研究事業名　地域医療基盤開発推進研究事業

２．研究課題名　パーソナルヘルスコードを活用した診療（オンライン診療中心とした）における行動変容に関する研究

３．研究者名　（所属部署・職名）国際基幹教育院 GS 教育系　・　准教授

（氏名・フリガナ）　唐島　成宙　・　カラシマ　シゲヒロ

４．倫理審査の状況

	該当性の有無 有　無	左記で該当がある場合のみ記入（※1）		
		審査済み	審査した機関	未審査（※2）
人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針（※3）	■　□	■	金沢大学	□
遺伝子治療等臨床研究に関する指針	□　■	□		□
厚生労働省の所管する実施機関における動物実験等の実施に関する基本指針	□　■	□		□
その他、該当する倫理指針があれば記入すること （指針の名称：　　）	□　■	□		□

（※1）当該研究者が当該研究を実施するに当たり遵守すべき倫理指針に関する倫理委員会の審査が済んでいる場合は、「審査済み」にチェックし一部若しくは全部の審査が完了していない場合は、「未審査」にチェックすること。

その他（特記事項）

（※2）未審査の場合は、その理由を記載すること。

（※3）廃止前の「疫学研究に関する倫理指針」、「臨床研究に関する倫理指針」、「ヒトゲノム・遺伝子解析研究に関する倫理指針」、「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」に準拠する場合は、当該項目に記入すること。

５．厚生労働分野の研究活動における不正行為への対応について

研究倫理教育の受講状況	受講 ■　未受講 □

６．利益相反の管理

当研究機関におけるＣＯＩの管理に関する規定の策定	有 ■　無 □（無の場合はその理由：　　）
当研究機関におけるＣＯＩ委員会設置の有無	有 ■　無 □（無の場合は委託先機関：　　）
当研究に係るＣＯＩについての報告・審査の有無	有 ■　無 □（無の場合はその理由：　　）
当研究に係るＣＯＩについての指導・管理の有無	有 □　無 ■（有の場合はその内容：　　）

（留意事項）　・該当する□にチェックを入れること。

・分担研究者の所属する機関の長も作成すること。

令和 7 年 4 月 1日

厚生労働大臣　殿

機関名　国立大学法人金沢大学

所属研究機関長　職　名　学長

氏　名　和田　隆志

次の職員の令和 6 年度厚生労働科学研究費の調査研究における、倫理審査状況及び利益相反等の管理については以下のとおりです。

１．研究事業名　地域医療基盤開発推進研究事業

２．研究課題名　パーソナルヘルスコードを活用した診療（オンライン診療中心とした）における行動変容に関する研究

３．研究者名　（所属部署・職名）附属病院研修医・専門医総合教育センター　・　准教授

（氏名・フリガナ）　米谷　充弘　・　コメタニ　ミツヒロ

４．倫理審査の状況

	該当性の有無 有　無	左記で該当がある場合のみ記入（※1）		
		審査済み	審査した機関	未審査（※2）
人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針（※3）	■　□	■	金沢大学	□
遺伝子治療等臨床研究に関する指針	□　■	□		□
厚生労働省の所管する実施機関における動物実験等の実施に関する基本指針	□　■	□		□
その他、該当する倫理指針があれば記入すること （指針の名称：　　）	□　■	□		□

（※1）当該研究者が当該研究を実施するに当たり遵守すべき倫理指針に関する倫理委員会の審査が済んでいる場合は、「審査済み」にチェックし一部若しくは全部の審査が完了していない場合は、「未審査」にチェックすること。

その他（特記事項）

（※2）未審査の場合は、その理由を記載すること。

（※3）廃止前の「疫学研究に関する倫理指針」、「臨床研究に関する倫理指針」、「ヒトゲノム・遺伝子解析研究に関する倫理指針」、「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」に準拠する場合は、当該項目に記入すること。

５．厚生労働分野の研究活動における不正行為への対応について

研究倫理教育の受講状況	受講 ■　未受講 □

６．利益相反の管理

当研究機関におけるＣＯＩの管理に関する規定の策定	有 ■　無 □（無の場合はその理由：　　）
当研究機関におけるＣＯＩ委員会設置の有無	有 ■　無 □（無の場合は委託先機関：　　）
当研究に係るＣＯＩについての報告・審査の有無	有 ■　無 □（無の場合はその理由：　　）
当研究に係るＣＯＩについての指導・管理の有無	有 □　無 ■（有の場合はその内容：　　）

（留意事項）　・該当する□にチェックを入れること。

・分担研究者の所属する機関の長も作成すること。

令和 7 年 4 月 1日

厚生労働大臣　殿

機関名　国立大学法人金沢大学

所属研究機関長　職　名　学長

氏　名　和田　隆志

次の職員の令和 6 年度厚生労働科学研究費の調査研究における、倫理審査状況及び利益相反等の管理については以下のとおりです。

１．研究事業名　地域医療基盤開発推進研究事業

２．研究課題名　パーソナルヘルスコードを活用した診療（オンライン診療中心とした）における行動変容に関する研究

３．研究者名　（所属部署・職名）融合研究域融合科学系 ・ 教授

（氏名・フリガナ）　南保　英孝 ・ ナンボ　ヒデタカ

４．倫理審査の状況

	該当性の有無 有　無	左記で該当がある場合のみ記入（※1）		
		審査済み	審査した機関	未審査（※2）
人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針（※3）	■　□	■	金沢大学	□
遺伝子治療等臨床研究に関する指針	□　■	□		□
厚生労働省の所管する実施機関における動物実験等の実施に関する基本指針	□　■	□		□
その他、該当する倫理指針があれば記入すること（指針の名称：　　）	□　■	□		□

（※1）当該研究者が当該研究を実施するに当たり遵守すべき倫理指針に関する倫理委員会の審査が済んでいる場合は、「審査済み」にチェックし一部若しくは全部の審査が完了していない場合は、「未審査」にチェックすること。

その他（特記事項）

（※2）未審査の場合は、その理由を記載すること。

（※3）廃止前の「疫学研究に関する倫理指針」、「臨床研究に関する倫理指針」、「ヒトゲノム・遺伝子解析研究に関する倫理指針」、「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」に準拠する場合は、当該項目に記入すること。

５．厚生労働分野の研究活動における不正行為への対応について

研究倫理教育の受講状況	受講 ■　未受講 □

６．利益相反の管理

当研究機関におけるＣＯＩの管理に関する規定の策定	有 ■　無 □（無の場合はその理由：　　）
当研究機関におけるＣＯＩ委員会設置の有無	有 ■　無 □（無の場合は委託先機関：　　）
当研究に係るＣＯＩについての報告・審査の有無	有 ■　無 □（無の場合はその理由：　　）
当研究に係るＣＯＩについての指導・管理の有無	有 □　無 ■（有の場合はその内容：　　）

（留意事項）　・該当する□にチェックを入れること。

・分担研究者の所属する機関の長も作成すること。

令和 7 年 4 月 1日

厚生労働大臣　殿

機関名　国立大学法人金沢大学

所属研究機関長　職　名　学長

氏　名　和田　隆志

次の職員の令和 6 年度厚生労働科学研究費の調査研究における、倫理審査状況及び利益相反等の管理については以下のとおりです。

１．研究事業名　地域医療基盤開発推進研究事業

２．研究課題名　パーソナルヘルスコードを活用した診療（オンライン診療中心とした）における行動変容に関する研究

３．研究者名　（所属部署・職名）医薬保健研究域医学系 ・ 准教授

（氏名・フリガナ）　原　章規 ・ ハラ　アキノリ

４．倫理審査の状況

	該当性の有無 有　無	左記で該当がある場合のみ記入（※1）		
		審査済み	審査した機関	未審査（※2）
人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針（※3）	■　□	■	金沢大学	□
遺伝子治療等臨床研究に関する指針	□　■	□		□
厚生労働省の所管する実施機関における動物実験等の実施に関する基本指針	□　■	□		□
その他、該当する倫理指針があれば記入すること（指針の名称：　　）	□　■	□		□

（※1）当該研究者が当該研究を実施するに当たり遵守すべき倫理指針に関する倫理委員会の審査が済んでいる場合は、「審査済み」にチェックし一部若しくは全部の審査が完了していない場合は、「未審査」にチェックすること。

その他（特記事項）

（※2）未審査の場合は、その理由を記載すること。

（※3）廃止前の「疫学研究に関する倫理指針」、「臨床研究に関する倫理指針」、「ヒトゲノム・遺伝子解析研究に関する倫理指針」、「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」に準拠する場合は、当該項目に記入すること。

５．厚生労働分野の研究活動における不正行為への対応について

研究倫理教育の受講状況	受講 ■　未受講 □

６．利益相反の管理

当研究機関におけるＣＯＩの管理に関する規定の策定	有 ■　無 □（無の場合はその理由：　　）
当研究機関におけるＣＯＩ委員会設置の有無	有 ■　無 □（無の場合は委託先機関：　　）
当研究に係るＣＯＩについての報告・審査の有無	有 ■　無 □（無の場合はその理由：　　）
当研究に係るＣＯＩについての指導・管理の有無	有 □　無 ■（有の場合はその内容：　　）

（留意事項）　・該当する□にチェックを入れること。

・分担研究者の所属する機関の長も作成すること。

令和 7 年 4 月 1日

厚生労働大臣　殿

機関名　国立大学法人金沢大学

所属研究機関長　職　名　学長

氏　名　和田　隆志

次の職員の令和 6 年度厚生労働科学研究費の調査研究における、倫理審査状況及び利益相反等の管理については以下のとおりです。

１．研究事業名　地域医療基盤開発推進研究事業

２．研究課題名　パーソナルヘルスコードを活用した診療（オンライン診療中心とした）における行動変容に関する研究

３．研究者名　（所属部署・職名）医薬保健研究域医学系 ・ 助教

（氏名・フリガナ）　青野　大輔 ・ アオノ　ダイスケ

４．倫理審査の状況

	該当性の有無 有　無	左記で該当がある場合のみ記入（※1）		
		審査済み	審査した機関	未審査（※2）
人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針（※3）	■　□	■	金沢大学	□
遺伝子治療等臨床研究に関する指針	□　■	□		□
厚生労働省の所管する実施機関における動物実験等の実施に関する基本指針	□　■	□		□
その他、該当する倫理指針があれば記入すること（指針の名称：　　）	□　■	□		□

（※1）当該研究者が当該研究を実施するに当たり遵守すべき倫理指針に関する倫理委員会の審査が済んでいる場合は、「審査済み」にチェックし一部若しくは全部の審査が完了していない場合は、「未審査」にチェックすること。

その他（特記事項）

（※2）未審査の場合は、その理由を記載すること。

（※3）廃止前の「疫学研究に関する倫理指針」、「臨床研究に関する倫理指針」、「ヒトゲノム・遺伝子解析研究に関する倫理指針」、「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」に準拠する場合は、当該項目に記入すること。

５．厚生労働分野の研究活動における不正行為への対応について

研究倫理教育の受講状況	受講 ■　未受講 □

６．利益相反の管理

当研究機関におけるＣＯＩの管理に関する規定の策定	有 ■　無 □（無の場合はその理由：　　）
当研究機関におけるＣＯＩ委員会設置の有無	有 ■　無 □（無の場合は委託先機関：　　）
当研究に係るＣＯＩについての報告・審査の有無	有 ■　無 □（無の場合はその理由：　　）
当研究に係るＣＯＩについての指導・管理の有無	有 □　無 ■（有の場合はその内容：　　）

（留意事項）　・該当する□にチェックを入れること。

・分担研究者の所属する機関の長も作成すること。

令和 7 年 4 月 1日

厚生労働大臣　殿

機関名　国立大学法人金沢大学

所属研究機関長　職　名　学長

氏　名　和田　隆志

次の職員の令和 6 年度厚生労働科学研究費の調査研究における、倫理審査状況及び利益相反等の管理については以下のとおりです。

１．研究事業名　地域医療基盤開発推進研究事業

２．研究課題名　パーソナルヘルスコードを活用した診療（オンライン診療中心とした）における行動変容に関する研究

３．研究者名　（所属部署・職名）融合研究域 ・ 研究協力員

（氏名・フリガナ）　野田　侑子 ・ ノダ　ユウコ

４．倫理審査の状況

	該当性の有無 有　無	左記で該当がある場合のみ記入（※1）		
		審査済み	審査した機関	未審査（※2）
人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針（※3）	■　□	■	金沢大学	□
遺伝子治療等臨床研究に関する指針	□　■	□		□
厚生労働省の所管する実施機関における動物実験等の実施に関する基本指針	□　■	□		□
その他、該当する倫理指針があれば記入すること （指針の名称：　　）	□　■	□		□

（※1）当該研究者が当該研究を実施するに当たり遵守すべき倫理指針に関する倫理委員会の審査が済んでいる場合は、「審査済み」にチェックし一部若しくは全部の審査が完了していない場合は、「未審査」にチェックすること。

その他（特記事項）

（※2）未審査の場合は、その理由を記載すること。

（※3）廃止前の「疫学研究に関する倫理指針」、「臨床研究に関する倫理指針」、「ヒトゲノム・遺伝子解析研究に関する倫理指針」、「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」に準拠する場合は、当該項目に記入すること。

５．厚生労働分野の研究活動における不正行為への対応について

研究倫理教育の受講状況	受講 ■　未受講 □

６．利益相反の管理

当研究機関におけるＣＯＩの管理に関する規定の策定	有 ■　無 □（無の場合はその理由：　　）
当研究機関におけるＣＯＩ委員会設置の有無	有 ■　無 □（無の場合は委託先機関：　　）
当研究に係るＣＯＩについての報告・審査の有無	有 ■　無 □（無の場合はその理由：　　）
当研究に係るＣＯＩについての指導・管理の有無	有 □　無 ■（有の場合はその内容：　　）

（留意事項）　・該当する□にチェックを入れること。
・分担研究者の所属する機関の長も作成すること。